



ゴルフコーチ 篠塚 武久先生が 本当に伝えたかったこと。

時松隆光プロ×篠塚武久コーチ対談3回シリーズを終え、
編集部宛てに篠塚先生から一本の電話が入りました。

「対談では語り切れませんでした、

ゴルフのことでお伝えしたいことがあります！」

思う存分語っていただくことにしました。



篠塚武久(しのづか・たけひさ)1945年5月27日生まれ、78歳。
福岡市で「桜美ゴルフハウス」を主宰。福岡大学の石田迪夫教授
と共同で作上げた「OSゴルフ理論」で時松隆光プロをはじめと
するトッププロゴルファーを多数輩出。自身も日本オープン4回出場
など、トップアマとしての実績がある。

「10本で握る テンフィンガースウィング」 篠塚武久 著 ゴルフダイジェスト社▼

桜美ゴルフハウス

住所：福岡県那珂川市後野
571(筑紫ヶ丘GC内)
電話：090-2392-5454



時松プロ×篠塚コーチ
過去3回の
対談はコチラ！
「GOLF TALK」



僕の師匠です！



プロゴルファー
ときまつ りゅうこう
時松 隆光 氏

長らくゴルフ業界に携わり ゴルフについて思うこと

心と体の健康の為に ゴルフが有効

トップアマとしての実績を積み、福岡県で「桜美^{おうみ}ゴルフクラブ」を主宰、ジュニアを中心にアマチュアゴルフアートを指導しています。約30年前、福岡大学の大石迪夫^{おおいしみちお}教授から「固定概念は捨て去り、ゼロからゴルフスウィングを分析しましょう」と言われ、つくりあげたのが桜美式「OS理論(ちなみに〇は大石教授、Sは篠塚が由来)」です。源藏君(時松隆光プロ)のおかげで桜美式「OS理論」(テンフィンガー)も世の中にだいぶ浸透してきたと思います。長年ゴルフ業界に携わり、その変遷を見てきたからこそ、70歳を過ぎた頃からゴルフのあるべき姿について思うようになりました。

今日の社会はインターネット産業の発展により、大きく生活環境が変わってきています。多くの便利さの代償に人々は体を動かさず、頭も使わず、会話も少なくなり、人間としての一番大事な心と体の健康が失われようとしています。

私たちは、スマートフォンやPCを使わない時間を確保し、友人、家族とのリアルな会話を持つことが重要です。老若男女、あらゆる垣根を越えてコミュニケーションができ、一緒に運動する、その条件を備えたスポーツがゴルフなのです。

ゴルフがほかのスポーツと決定的に違うことは自然をバックにプレーできるということです。そこでは日頃の

の会話不足を補うに十分なコミュニケーションが交わされます。また、子どもたちは自己責任と礼儀作法を学ぶことができます。

昨今、いじめや殺傷事件など、子どもの問題行動が多いのは家族間の会話が少ないことも一因ではないかと思えます。自然のなかで子どもたちが伸び伸びとゴルフをすれば、学校内・家庭内での諸問題の解決に大きく効果を期待できるのではないのでしょうか。

お父さんだけゴルフから 家族でゴルフの時代に

私が一番お伝えしたいことは「ゴルフを家族で楽しんでほしい」ということです。ゴルフは心と体の健康をサポートします。お子様の能力があればプロへの道も拓けます。ゴルフは社会に出ても続けられます。

お父さんだけゴルフという時代はもう過去のもの。これからは、おじいちゃんおばあちゃん、お母さん、子ども、家族でゴルフを楽しむ時代です。

特に、おじいちゃんと孫の組み合わせはお勧めです。「お父さんゴルフばかりしている」と責められないように、お母さんもぜひ誘ってください。

会社のゴルフコンペで家族を招待して、ゴルフ場を歩くだけ、ついでに歩くだけでもいいのです。ゴルフを好きになつてもらうことが大事です。

ゴルフは野外スポーツです。歩くという健康の原点があり、ハードなスポーツではありません。老若男女が楽しめる生涯スポーツ、それがゴルフです。ぜひ、ゴルフの楽しさをみんなで分かち合いましょ。

ゴルフは親子3世代が自然の中で 会話しながら楽しむスポーツです。

